発行所 〒104-0043
東京都中央区湊2-12-6 湊SYビル
公益社団法人 日本海洋少年団連盟
電　話 03（3553）1818
（年6回奇数月の1日）
5月、7月合併号
購読料　1部10円（送料実費）
会員会費には購読料が含まれる
振替東京 5－13846番

海子

海洋少年団通信

Japan Sea Cadet Federation

ち　か　い

1. 海のような広い心で団結しすべての人を友とします。
2. からだをきたえ、心を養い立派な海の子になります。

平成27年度 定時総会、団長会議等を開催

―会長、副会長全員が再任―

日本連盟は、去る6月10日（水）、東京晴海の「ホテルマリナーズコート東京」において、午後1時から午後5時30分までの間、資格審査会、団長会議、平成27年度定時総会及び臨時理事会を開催した。

引き続き午後5時40分から午後7時20分にわたり懇親会を開催し、翌6月11日（木）には、東京都中央区の日本連盟会議室において、午前10時から午後2時過ぎまで地区連盟事務局長会議を開催した。

団長会議は、資格審査会に引き続いて、2階会議室「春日」において予定どおり午後1時50分から開催され、次の7議案について説明及び質疑を行った。

第一号議案　海洋少年団の強化・活性化について

第二号議案　日本海洋少年団連盟指導者協議会について

第三号議案　第52回全国大会の実施について

第四号議案　平成27年度事業計画について

第五号議案　海洋少年団の制服等について

第六号議案　各団提出議題について

第七号議案　その他

平成27年度定時総会は、同会議室において午後3時から開催され、正会員131名のうち、過半数を超える84名（うち議決権行使書44名）が出席し、5月13日の第1回理事会で承認された6議案について審議が行われ、全て原案どおりに承認された。

第一号議案　平成26年度決算について

第二号議案　平成27年度予算について

第三号議案　役員の選解任について

第四号議案　関係規則の改正について

第五号議案　日本海洋少年団連盟指導者協議会規則の制定」、「海洋少年団マスコットキャラクター愛称募集」、「日本海洋少年団の強化・活性化の進捗状況（別掲参照のこと）」、「重要な使用人の退任及び選任」等についての説明が行われた。

第六号議案　その他

臨時理事会は、2階会議室「豊明」において午後5時15分から開催され、理事19名のうち、理事15名及び監事1名が出席し、会長に草刈隆郎氏、副会長に岩崎貞二、林正次及び権藤正信各氏並びに理事長に野一色修平氏の重任が承認された。

議案のうち第三号議案「役員の選解任について」は、寺嶋潔理事、古木圭介理事が退任し、野一色修平理事長が辞任し、樋口修資氏及び磯谷兵衛氏が新しい理事として選任された（野一色理事長は8月31日付、磯谷理事は9月1日付）。

また、報告事項として、「平成26年度事業報告」、「平成27年度事業計画」、「会員の入会及び退会」、「日本海洋少年団連盟指導者協議会規則の制定」、「海洋少年団マスコットキャラクター愛称募集」、「日本海洋少年団の強化・活性化の進捗状況（別掲参照のこと）」、「重要な使用人の退任及び選任」等についての説明が行われた。

臨時理事会は、2階会議室「豊明」において午後5時15分から開催され、理事19名のうち、理事15名及び監事1名が出席し、会長に草刈隆郎氏、副会長に岩崎貞二、林正次及び権藤正信各氏並びに理事長に野一色修平氏の重任が承認された。

以上ですべての日程を終了し、午後5時40分から4階「白鳳」において、海事振興連盟から髙木義明副会長並びに今村雅弘、塩谷立及び寺田稔各衆議院議員、国土交通省本田事務次官、森技術総括審議官、森重海事局長、文部科学省久保スポーツ・青少年局長代理泉課長、海上保安庁佐藤雄二長官及び佐藤善信次長、中島海上保安監、宮内庁西ヶ廣宮務主管、東京都多羅尾港湾局長、公益財団法人日本海事センター桝野理事長、公益財団法人海上保安協会石橋理事長など多数の関係団体役職員等の来賓を迎えて懇親会を開催し、活発な意見交換や親睦を深め、時間を延長して午後7時20分に散会した。

日本海洋少年団連盟のマスコットキャラクター決定

日本海洋少年団連盟は、昨年10月から今年1月末にかけて募集したマスコットキャラクターデザイン833作品のなかから3回の審査会を行い、受賞者を次の3名に決定し、最優秀賞に賞金10万円、優秀賞に賞金3万円を授与した。

最優秀賞　池田克也（埼玉県）、**優秀賞**　神田佳生（東京都）、**優秀賞**　梶原フェルナンドよしひろ（愛媛県）。

現在、全国の153名の海洋少年団員から応募のあったマスコットキャラクターの愛称の審査を行っており、決定しだい表彰することとしている。

日本海洋少年団連盟のマスコットキャラクターは、パンチングPOPを作成して今年東京で開催する第52回日本海洋少年団全国大会でお披露目をするほか、ポスターや各種のグッズ等に活用することとしている。

最優秀賞

優秀賞

優秀賞

六本木通りに大看板完成

～子供たちの未来に向け～

全日本海員組合（森田保己組合長、日本海洋少年団連盟理事、東京都港区六本木）は、3月28日、通行人であふれる六本木通りに面した全日本海員組合の敷地内に縦2.5メートル、横5メートルの海洋少年団PRのための大看板を設置した。

大看板は、「子供たちの未来に向け」「～あつまれ！子供たち　団員募集中～」と、海洋国家日本の未来を担う少年少女達に海洋少年団への入団を呼び掛けている。

海洋少年団の強化・活性化

～海事振興連盟などが全国規模で働きかけ～

海洋少年団の強化・活性化のための多様な活動が海事振興連盟（衛藤征士郎会長）などの支援と協力のもと全国規模で進められている。

日本海洋少年団連盟は、昨年10月、海洋少年団の強化・活性化を支援するための中心的な役割を果たしている海事振興連盟の会員のうち衛藤征士郎会長から推薦のあった22名の国会議員に対して新団設立などについての協力と支援を依頼した。この働きかけに応じて、全国各地の国会議員の地元で新団設立などの動きが着実に広がっている。

一方、日本海洋少年団連盟の全国12地区連盟において、海洋少年団の強化・活性化を進めるためのプロジェクトチーム（PT）作りが行われている。PTメンバーは、海洋少年団各地区連盟、国土交通省各地方運輸局、海上保安庁各管区海上保安本部、関係各県教育委員会、海事関係地方団体及び海事関係地区企業であり、顧問として海事振興連盟地元国会議員が予定されている。6月までにPTメンバー予定者のうち関係各県教育委員会までの賛同を得ている。

このように海事関係者などの全面的な支援・協力により、長崎県、沖縄県、熊本県、神戸市、宮崎市、鳥羽市等において、新団設立に向けての準備や関係者の調整が始まっている。

また、海事振興連盟等の支援により海事関係団体、海事関係企業など30団体・2個人が新たな賛助会員として加入し、今後の日本海洋少年団連盟の財政基盤を支えることになった。

私たちは海洋少年団を応援します！

平成27年度新規加入賛助会員様

【団体会員】

株式会社ナカタ・マックコーポレーション・瑞穂産業株式会社・一般財団法人東京船員厚生協会・株式会社エクセノヤマミズ・NYKバルク・プロジェクト貨物輸送株式会社・太平洋沿海汽船株式会社・株式会社新来島どっく・共栄タンカー株式会社・一般社団法人日本海運集会所・大同商運株式会社・株式会社松井商会・全日本海員組合・鈴与株式会社・株式会社同和ライン・内海曳船株式会社・正栄汽船株式会社・三洋海事株式会社・株式会社大島造船所・ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン株式会社・明治海運株式会社・三菱重工業株式会社・外航船舶代理店業協会・NPO法人国際マリンサポートセンター

【個人会員】

阪田裕一・古川武昭・神子英二

（順不同・敬称略）

今月の主な記事

2面　第52回全国大会要綱・日程、強化・活性化（第5報）、緑綬褒章受章他
3面　みどりの広場・まんが
4面　海事振興連盟との懇談会、各団ニュース 他

第52回日本海洋少年団全国大会要綱

1　大会概要

（1）開催期日
平成27年7月31日（金）～8月2日（日）

（2）開催場所
国立オリンピック記念青少年総合センター、東京海洋大学及び東京港

（3）大会内容
開会式、表彰式、閉会式、競技、研修会及び意見交換会

（4）大会日程
左記表のとおり

（5）競技種目
イ　手旗及びロープワーク競技ともに個人・団体の2種目を実施
ロ　教育級団員又は平成27年4月入団者のための競技を実施
ハ　カッター競技及びラッコ級競技をオープン競技として実施
ニ　カッター親善対抗競技及びゴムボート親善競技を実施

（6）体験乗船等
競技に参加しない団員等にカッター、カヌー等の体験乗船を実施予定

（7）参加者
約1000人（日本海洋少年団、外国海洋少年団、スタッフ等）

（8）宿泊所
国立オリンピック記念青少年総合センター

（9）参加費
1人　18000円

（10）その他
入団間もない団員も参加出来るような楽しい大会を目指す。

2　主催・協力

主催主管　公益社団法人日本海洋少年団連盟

協力　日本海洋少年団東京地区連盟、深沢団、目白台団、大田区団、千代田区団、杉並団、葛飾団、千葉新宿団、千葉北部団、船橋団、大和団

3　後援予定

海事振興連盟、文部科学省、国土交通省、海上保安庁、関東運輸局、関東地方整備局、第三管区海上保安本部、東京海上保安部、国立大学法人東京海洋大学、国立オリンピック記念青少年総合センター、東京都、港区、江東区、（公財）日本海事センター、（一社）日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、（一社）日本旅客船協会、（一社）日本造船工業会、（一社）日本中小型造船工業会、（一財）近藤記念海事財団、（一財）山縣記念財団、全日本海員組合、国際船員労務協会、J-CREWプロジェクト、（公財）日本海事広報協会、日本海事新聞社、教育新聞社、海上保安大学校同窓会「若葉会」等

4　支援体制

参加海洋少年団指導者の競技・運営等の協力及び海洋少年団父母会・OB会、国立大学法人東京海洋大学学生、海上保安大学校同窓会「若葉会」等からボランティアを募集し、多数のボランティアの支援を受けて実施する。

全国大会実施日程

	7月31日（金）集結日
15：00	宿泊受付開始
15：30	記念写真撮影（～17：30）
17：00	夕食
18：30	競技委員会・梯団長等会議開始・開会式予行練習開始（～20：00）
	8月1日（土）1日目
7：00	朝食
8：00	手旗競技（～09：50）
10：00	開会式（～11：30）
11：30	在京団等歓談・昼食（11：30～13：30）
12：00	来賓等昼食会（～12：50）
13：30	基本動作競技（～14：00）
14：00	ロープワーク競技（～15：50）
16：00	手旗競技（～17：00）
17：00	夕食
18：20	日本連盟表彰式・交流会・団長会議等
	8月2日（日）2日目
7：00	朝食
10：30	カッター競技（～11：50）
12：00	昼食
13：00	カッター対抗親善競技・ゴムボート親善競技・体験乗船（～15：00）
15：30	閉会式（～16：30）

海洋少年団強化・活性化協議会が活動（第5報）
―会員1万人回帰運動の具体化―

国土交通省、海上保安庁、航海訓練所や日本船主協会などの海事関係業界9団体の実務担当者をメンバーとする海洋少年団強化・活性化協議会の活動が強化活性化地区プロジェクトチーム（PT）の設立などに大きな成果をあげている。

以下は、6月30日（火）、都内の日本船主協会役員会議室において開催された第11回海洋少年団活性化協議会の概要である。

（1）海事振興連盟関係

海事振興連盟会員（国会議員）の対応状況、岩崎貞二副会長等による各会員に対する協力・支援の依頼状況の概要等。

（2）PT関係

日本海洋少年団連盟の12地区連盟において海洋少年団地区連盟、国土交通省運輸局、海上保安庁管区海上保安本部、県教育委員会等によるチームがほぼ構成済となった。また園田裕一参与及び青木敏博指導部長の就任による連盟本部の体制強化が図られたことにより、今後、海事関係団体、海事教育機関等の参画についてさらに積極的な働きかけを行う。

（3）新団設立関係

①　6月25日付で境港海洋少年団（鳥取県）から1号正会員の入会申し込み（新団設立）があった。②　神戸市、うるま市、宮崎市、宇城市、熊本市及び鳥羽市における新団設立のための活動の概要。

（4）マスコットキャラクター関係

愛称の募集を締め切った。

7月31日からの全国大会開会式に間に合うように最優秀賞作品の空気ビニール人形（高さ1.2メートル）5体を作製中。

（5）協議会メンバーの活性化推進策等

①国土交通省＝来年の海フェスタは東三河地区。舞鶴海洋少年団等の強化・活性化の成功モデルを広めること。情報は、地方運輸局にも展開する。広報の強化が必要。PTについては各海上技術学校等に情報を周知している。今後は、海技教育機構本部を通すこと。第52回日本海洋少年団全国大会への協力。②海上保安庁＝新団設立の動きがある地域については海上保安部も把握済。全国の部署での乗船体験などの便宜供与で海洋少年団に協力する。③日本船主協会＝国際海事機関（IMO）海の日パラレルイベントとしての特別行事（船舶の公開）に海洋少年団を招待する。④日本マリン事業協会、マリンスポーツ財団＝体験型イベントなどで海洋少年団のチラシを配布する。⑤日本中小型造船工業会＝海洋少年団のない地域に所在する造船所に新団設立の取り組みを働きかけている。造船所には団員経験者が多い。⑥日本海洋レジャー安全・振興協会＝横浜海洋少年団と10月の東京湾大感謝祭参加ついて調整中。⑥海事振興連盟＝7月2日、博多での「海の教育に関する意見交換会」でチラシを配布する。「海の楽しさ、海から学ぶ」等の分かりやすいチラシが必要。タウンミーティングに海洋少年団代表が参加してはどうか。

日本連盟は、今後とも、心身ともに健全な青少年育成の構築、海洋思想の普及等を図り、将来、海洋国家日本を支える人材を育成するため、団員の数を「2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに1万人に復活させる」ことを目標に、海事局（及び運輸局）、海上保安庁（及び海上保安本部等）並びに関係団体と協力・連携していくこととしている。

祝　豊橋団と新潟団が緑綬褒章を受章
～全国7団体中2団体が海洋少年団～

豊橋海洋少年団と新潟海洋少年団が春の褒章「緑綬褒章」を4月29日付で受章した。

緑綬褒章は、「長年にわたり社会に奉仕する活動（ボランティア活動）に従事し、顕著な実績を挙げた方」に授与される褒章で、このたびは全国の受賞者3名・7団体のなか環境美化奉仕団体として両海洋少年団が受章した。

豊橋団日本連盟にて

5月15日に国土交通省で緑綬褒章が授与されたのち、両海洋少年団の団長は、皇居で天皇陛下に拝謁した。

〔新潟団受賞の報告〕

新潟海洋少年団は、平成27年春の褒章において、社会奉仕活動功績により緑綬褒章を受章した。

昭和41年（1996年）の結団以来、毎年行ってきた海浜清掃活動が評価されての受章です。

受章当日の4月29日は、新潟団OB会が開催されており、佐藤勝団長から「ここに居る皆さん、また、新潟団に関わってきた、たくさんの方たちが、少しずつ積み重ねてきてくれた結果としての受章です」との言葉に、「たいしたことをした訳じゃないのにね」「きったね所で遊びたくなかっただけらて」など団員だった頃を思い起こし、結団時より携わってきた熟年世代から、昨年卒団された若者まで皆で喜びを分かち合った。

これからも、「50年、100年続けられる新潟海洋少年団」を、と心に想う一日となった。

平成26年度
指導者及び卒団者13名が褒状山縣賞を受賞

日本連盟は、一般財団法人山縣記念財団の助成を受け「平成26年度褒状山縣賞」を次の13名に授与することを決定し、表彰式及び港湾関係等研修を東京において実施した。

八戸団　指導者　濱登由美子、大野真澄、森下由貴
横浜団　指導者　新岡　久
中日団　指導者　辻　育美
四日市団　指導者　斎木政志
福岡団　準指導者　峯田彩也夏
門司団　是永直輝
佐世保団　準指導者　江口　拓也、船越　霧、池田　真太郎、佐々宗太朗、稗田　徳

平成27年3月20日（金）は、千代田区丸の内の日本郵船株式会社において山縣記念財団小林理事長・郷古常務理事を来賓に迎え表彰式を開催し、日本連盟草刈会長から受賞者に対して表彰状及び褒状山縣賞が授与された。表彰式終了後、日本連盟草刈会長と日頃の活動状況などについて歓談した。

3月21日（土）は、港湾関係等研修が行われ、東京海上保安部所属の巡視艇まつなみ（お召艇）に乗船して東京港、レインボーブリッジ、東京ゲートブリッジ、羽田空港、風の塔（東京湾横断道路換気塔）、川崎港、横浜ベイブリッジ及び横浜港を洋上から見学し、横浜海上防災基地（横浜海上保安部）に入港した。横浜海上保安部では、海上保安資料館に展示されている北朝鮮の工作船をボランティアガイドの解説を受けながら見学した。その後、日本郵船歴史博物館、氷川丸、帆船日本丸などで明治時代から現代に至る海運、船舶等の歴史を学び、戦前の超豪華貨客船の当時のままに保存されている氷川丸や現役帆船のような日本丸メモリアルパークの船内を見学して港湾関係等研修を終了した。

3月22日（日）は、歴史関係等研修が行われ、ソラマチからスカイツリーを見学後、浅草に移動し、浅草寺、雷門及び仲見世を見学、その後、両国に移動し、江戸東京博物館などにて実物大のお江戸日本橋、江戸時代を再現した各種展示物を見学し、全ての日程を終了した。

みどりの広場

「水泳記録会」

下関団　藏谷　和奏

わたしは、今回はじめて水泳記録会をした時に、25メートル泳げるかなと思ったけど、じょうずに、25メートルが、泳げました。

練習の時には、バタ足を、5回以上やってかべのはしを持ってバタ足を、また5回以上やって、さい後にビートバンでバタ足といきつぎを、10回以上やりました。いっぱいやったので、足がいたかったです。でも25メートルおよげたのでよかったです。

その後、自由じかんで、ビートバンをいっぱいかさねて、そのうえにのっておちました。

すごくたのしかったです。

レクリエーションのときには、水泳の、ルールを、おしえてもらいました。ルールが、あるとはしらなかったです。

たのしかったし、しょうじょうももらったし、メダルももらいました。たのしかったです。

「楽しかった水泳記録会」

宇部団　くどうさき

一日目は、昼ごはんを食べて水泳の練習をしました。さいしょ、プールが深かったのでこわかったです。水泳の練習がおわった後、自由時間でした。自由時間の後、たからさがしみたいのをしました。番号のふだは、七番でした。

二日目は、水泳記録会でした。さいしょに少し練習をして、開会式をして、本番になりました。わたしたちが泳ぐとき平松さんも泳いだのでびっくりしました。わたしは、四位でした。すごくくやしかったです。でも、泳ぎきったのでよかったです。メダルはもらえなかったけどしょうじょうはもらえたのでよかったです。しょうじょうといっしょにキーホルダーみたいなのももらいました。

今年の水泳記録会はすっごく楽しかったです。次の水泳記録会は二位ぐらいをめざしたいです。

「水泳記録会を終えて」

岩国団　森川　怜子

今回の水泳記録会は前回と違って自分は途中から来たので、あまり練習が出来ず記録が少し悪くとても悔しいです。上級生が少なくて、初等級の子供の面倒を見ないといけなくてとても大変でした。

夜のレクレーションでは水泳のルールなどを学び、自分なりに考えてしっかりやろうと思いました。

部屋の室長と班長という重大な役割も任されて、周りを見て行動しないといけないなと意識を持っていたけど注意された時があったので次回はこの反省を生かしたいです。

二日目の記録会では100m完泳が自分の目標でした。途中とても苦しかったけど最後まで泳ぎきれて達成感があり、嬉しかったです。リレーは惜しくも三位でしたが、良い思い出になったので良かったです。

今回の水泳記録会を通して、自分の限界に挑戦できました。また、努力すれば結果がでるということを身を通じて学べたので良かったです。また次回も来ようと思います。

「まつなみ」に乗った事

目白台団　湯澤　碧渚

「ほら!!早く起きて。今日は、集合時間いつもより早いんだから。」とお母さんの大きな声で目がさめました。時計を見たら5時20分でした。仕度をして、6時45分に家を出ました。

ゆりかもめに乗って、東京海上保安部に行きました。海上保安庁のお仕事の話しを聞いてとても大変だなあと思いました。いよいよ、じゅんしてい「まつなみ」に乗りました。くつを脱いでスリッパをはき、ふかふかのじゅうたんがしいてあって、大きくて長い机とイスがある広い部屋に行きました。ここでも保安官の人の話しを聞きました。その後、階段を上がりデッキに出て海の風に当たりとても気持ちが良かったです。

船長さんの後の席に座り、そうがんきょうで遠くを見たりとても楽しかったです。船を下りて、人形を使って心ぞうマッサージのやり方を教わりました。そして、船の科学館に行って、東京湾の船の安全を見守る部屋にあん内されました。とても真けんな顔でパソコンをしている人がいました。保安官の人たちのおかげで海の安全が守られているのだと、お母さんが教えてくれました。

海上保安庁のお仕事も分かったり、心ぞうマッサージのやり方も教わりとても勉強になりました。

「海上保安庁見学」

目白台団　石松　佑基

僕は、海上保安庁を見学する機会をもらいました。まず、海上保安庁の会議室でパンフレットなどを配られ、担当の方からお話を受け、ビデオを見ました。ビデオを見て、海上保安庁の役割などを学ぶことができました。

僕は、第三管区だけで、国土の10倍以上の広さの海を監視している事に驚きました。また、日本の海だけでなく、時には他国の海でも活動している事を初めて知りました。

次に、天皇皇后両陛下も乗られた事があるという、「巡視艇まつなみ」に乗船し、内部の構造を見学しました。中には会議室や特別室などもついていて、国際会議なども開催できるようになっていました。また、操縦席を間近で見る事ができ、レーダーや計器などの機器を使って運転している事に驚きました。

また、見学する前は、操縦は一人でやるものだと思っていたのですが、三人がかりで分担して操縦していることを初めて知ることができました。

他にも、船の科学館内にある、東京湾の船の出入りを監視する管制室を見学しました。

今回の海上保安庁見学を通して僕は、海上保安庁の仕事、海の安全などの事を学ぶことができました。これからの生活の中で、今回学んだことを活かして過ごしていきたいと思います。

「海上保安庁の見学」

目白台団　小山　大輝

ぼくは、このあいだ海上保安庁の見学に行きました。まつなみと言う船にのせてもらいました。まつなみは、中にいろいろなきかいがありました。ぼくは、こんなにあると思いませんでした。びっくりしました。そしてぼうえんきょうをかしてくれました。いろいろな船が見えてたのしかったです。海上保安庁の人たちは、いろいろなことをしていてりっぱだと思いました。

ぼくも海上保安庁みたいにりっぱになりたいです。ぼくのいとこのしんのすけおにいちゃんは、海上保安学校に行っていてがんばっています。ぼくも行きたいです。

いつもは上をとおるはしを下から見ることができてよかったです。いろいろなしゃしんをとってたのしかったです。

船の前のほうに行けたのがうれしかったです。

船にのせてくれて、ありがとうございました。

「じゅんしていにのってたのしかったこと」

目白台団　中村りつき

じゅんしていにのる日はサッカーのしあいがある日だったので、どちらに行こうかとてもなやみました。

でも船にのってみたかったのでしあいを休みました。

いつもよりはやいじかんにおきていかなければならなかったので大へんでした。ふねにのる前にAEDというきかいのつかいかたを教えてもらいました。

船の中でビデオを見たのがたのしかったです。

「まつなみにのって」

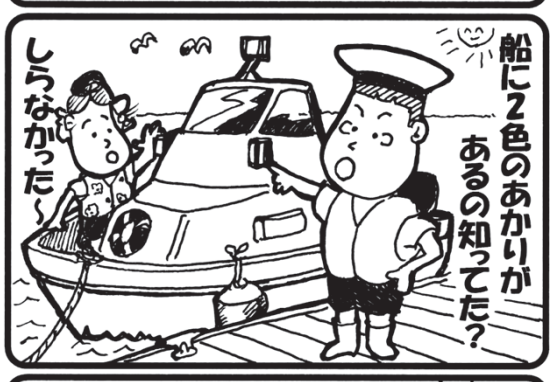
目白台団　ゆざわまなみ

かいじょうほあんちょうのふね「まつなみ」にのりました。ふねの中は、とてもひろくてきれいでした。せんちょうさんが、とてもかっこよかったです。うみのかぜがとてもきもちがよかったです。

また、かいじょうほあんちょうのふねにのりたいです。

うみた　ひろみ　海太と洋美　VOL.130

作・ちば へーた



海事振興連盟会員有志と初めての懇談会を開催

4月14日12時から都内の日本船主協会役員会議室において、海事振興連盟会員有志による「日本海洋少年団連盟役員との懇談会」が開催された。

日本海洋少年団連盟にとって同懇談会は初めての取り組みとなった。

懇談会では、日本海洋少年団連盟から「海洋少年団マスコットについて」や「海洋少年団の強化・活性化状況について（海事振興連盟の協力と支援の状況、地域プロジェクトチーム設立の進捗状況、新団設立の動きや賛助会員の新規加入状況等）」の説明があった。

海事振興連盟・衛藤征士郎会長から「7月20日」を目標に新団設立などの働きかけを続ける決意が述べられ、会員有志からは地元各地域の特色を踏まえた海洋少年団の強化・活性化の呼びかけを行うことなどの発言が相次いだ。

懇談会の参加者は次のとおり。（敬称略・順不同）

○海事振興連盟会員有志

衛藤征士郎、塩谷立、今村雅弘、平井たくや、北村茂男、西銘恒三郎、寺田稔、大西英男、石田正敏（代理）、笹川博義（代理）、西村康稔（代理）

○日本海洋少年団連盟役員

草刈隆郎会長、岩崎貞二副会長、野一色修平理事長、赤峯浩一理事

日本海洋少年団連盟は、今後とも、東京オリンピック・パラリンピックまでに団会員を一万人に増やすことを目指して、海事関係者の全面的な支援のもと新団の設立、既設団の強化、財政基盤の拡充及び本部体制の整備を図るための活動を全国規模で積極的に推進していくこととしている。

清水団

☆海岸清掃とカッター・カヌー体験☆

清水海洋少年団は3月15日（日）、清水海上保安部、清水海上保安友の会、東海大学端艇部を協力団体として、「すんぷエコアクション in 三保真崎海岸　海岸清掃とボート乗船の会」を開催した。

清水海洋少年団では、毎年秋に海岸清掃を実施して、環境の推移を観察しているが、昨年は都合により開催できず、その振り替えとなったのが今回の活動である。

雨予報であったものの、当日は晴天に恵まれ、海を美しく保つ意識を共有しようという呼びかけに、約100人の参加者が集まった。

清掃活動では、約1時間海岸を歩き、波打ち際に打ち上げられたり、草むらにたまったりしたゴミを拾い集めた。近年、環境保全の意識が高くなってきたこともあり、海岸に落ちているゴミの量が年々減ってきているが、それでも用意したゴミ箱に入りきらないほどのゴミが集まり、まだまだ環境保全への呼びかけが必要だと感じた。

海洋清掃後は、カッター、カヌーの乗船体験を行った。初心者や年少者も多く艇に乗り込み、アドバイスに従って海上に繰り出した。

参加者は早春の暖かな日差しの中、世界遺産登録された富士山や三保松原を眺め、水上散歩を楽しんだ。

参加者からは、「こんなにゴミが落ちているとは知らなかった。」、「風がとても気持ちよくて、カヌー体験楽しかった。」といった声を聞くことができたので、今後もこの活動を続け、多くの人に環境保全の重要性や、海洋活動の楽しさを伝えていきたいと感じた。

四日市団

☆フェリーで親子が手旗体験教室☆

四日市市内の小学生と保護者を対象にした「船で行く親子のきずな発見ツアー」が3月21日にあり、408人が四日市港から中部国際空港沖を往復する三時間の船旅を楽しんだ。四日市みなと、北、TENの三つのライオンズクラブが主催で開催され、参加者は伊勢湾フェリー「伊勢丸」に乗り込み、船内で少年団員による手旗信号、ロープワーク教室を開いて、参加者が親子の絆を深めることが出来た。また少年団員による海洋少年団PR活動も行った。

千葉新宿団・北部団

☆合同入団式☆

5月月31日、千葉市稲毛ヨットハーバーにおいて、千葉新宿海洋少年団（泉孝雄団長）と千葉北部海洋少年団（岡本政之団長）の合同入団式を執り行った。

新入団員8名は、来賓や先輩団員、指導者、保護者など50人余の出席者の見守るなか、緊張しながらも元気一杯に入団した。

式典では、来賓の千葉市こども未来部健全育成課・藤田孝明課長、千葉県議会・山中操議員、千葉海上保安部・佐藤肇次長などのお祝いと励ましの祝辞を受け、続いて、新入団員は、敬礼も初々しく両団長から真新しい団会員証を授けられた。

最後に木下悠磨団員（小4）が新入団員を代表して「ちかい」の言葉を述べ暖かい歓迎の拍手を受けた。

今治団・松山団

☆「バリシップ2015」で団員の募集活動☆

5月23日に愛媛県今治市で開催された「バリシップ2015」のイベント会場で今治海洋少年団が松山海洋少年団の協力を得て海洋少年団活動のPRと団員募集活動を行った。用意した1000枚の配布用チラシは、瞬く間になくなった。

翌24日は、今治海洋少年団の団員10名が日本船主協会からの特別招待を受け、航海訓練所の帆船「日本丸」のセイルドリルを船上で体験した。

団員は、セイルドリルの間近な見学や船首のジブ展帆作業に参加するなど迫力満載の貴重な体験に興奮していた。

【資格認定者】

平成27年5月13日と6月10日の資格審査委員会で認定された方は次の通りです。

指導者

〔八戸団〕本間丈夫、鈴木友康、
〔三原団〕松田星菜、森近彩乃
〔門司団〕吉本将秀
〔敦賀団〕橋詰　裕、高橋智子、板谷貴士
〔岩国団〕佐伯和彦、森川　諒、廣中厚祐

みどりの広場

「海洋保安見学」

目白台団　石松　佳奈

11月16日、お台場にある海上保安庁を見学に行きました。まず初めにビデオを見せてもらいました。ビデオには、港に来る船の荷物のてんけんをしている所などが写っていて、いろんな仕事をしているんだなと思いました。

その後はまつなみに乗船しました。私だけうんてんせきにすわらせてもらいました。そこには、見た事もないきかいがたくさんあって、すごいと思いました。

おりた後AEDの使い方をおそわりました。私はこの使い方でたくさんの人々の命をすくいたいと思います。

海上保安庁がどのくらい、役目があるのかというのが、とても分かりました。

「楽しかった東京海上保安部見学」

目白台団　澤澤　匠海

11月16日、東京海上保安部の見学に行きました。

最初に海上保安庁のお仕事をDVDで観たり救命胴衣の使い方を教えてもらいました。

一番楽しみにしていた巡視船「まつなみ」に乗りました。母からは「巡視船の「やしま」と大きさは違うよ。」と言われたけれど、僕はとても大きく感じました。天気がとても良かったので最高のクルージングでした。船を下りて次に心肺蘇生を保安官の方々から人形とAEDを使い教わりました。とても勉強になりました。最後に船の科学館に行き東京湾の交通管制室に行き保安官の方が船の航行について、分かりやすく親切に説明してくれました。

母から「今、海上保安庁の人達はとても忙しいのに船に乗せてもらえるんだから感謝するんだよ。こんな経験めったにできないんだから」と何日も前から言われていました。

もしかしたら「小笠原・尖閣の問題で出来ないかも」と言われたので行けて良かったです。

海上保安部の皆さんとても楽しい一日でした。ありがとうございました。